

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	川崎市中央療育センター		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	129	(回答者数) 110
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 30
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの将来を視野に入れた専門的かつ系統的・一貫性のある支援・援助を目指します。	心と体の安定を図りながら、運動遊びや感触遊び等の好きな遊びを大人と楽しむ中で、様々な活動に興味を示せるように支援をしています。 一人ひとりの認知の特性を理解しながら、行動への支援、様々な表現方法(表情、発声、身振り、事物や絵カードによる選択、言語等)で、人と関わりコミュニケーション力を育てています。 大人との信頼関係を築き情緒の安定を図りながら、小集団での生活や活動参加を支援しています。	療育支援に対して通園職員だけではなく、センター職員(医師・看護師・心理・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・訪問担当者・栄養士)と連携し支援を行います。
2	ファミリーサポート(ご家族への多様な支援)を行なうことによって、健全な育児、養育ができる支援・援助を目指します。	家庭生活における困り感や地域生活における相談支援を行います。 親子通園で具体的な関わりに対する相談援助をしています。 必要に応じて個人面談や勉強会(制度や生活支援等)を開催しています。	ソーシャルワーカーと一緒に相談支援を行います。 保護者勉強会に関しては、各クラスの課題に合わせ、適切な専門職員で実施しています。 園長によるミニ懇談会等も実施していきます。
3	地域における児童と関わる様々な関係機関との連携による支援・援助を目指します。	幼稚園や保育園、他事業所の利用等、地域で過ごすことを支援し、保護者のニーズに応じて電話連携や訪問支援を図り、情報共有を行います。 必要に応じて各機関における関係者会議等に参加しています。 センター機能として通園職員に限らず、センター職員が地域の園に訪問支援や事業所間連絡会を開催しています。	児童発達支援計画に記載し、必要に応じて園訪問へ行き連携をとっています。他部署とも連携して訪問強化を図っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通園の職員人数が多く全体周知が難しい状況です。	児童発達支援センターと児童発達支援事業所を運営しています。それに伴い、職員総数も多く共通認識が図れていないところもあります。	毎朝の朝礼や全体職員会議で情報共有を図っていきます。一人ひとりの思いを汲み取り対応できるように職員面談を実施していきます。
2	児童発達支援センターとしての規模が大きいこともあり、通園部以外のセンター機能の把握や役割等を行えていないところもあります。	日々行っている療育支援だけではなく、児童発達支援センターとしての中核機能や様々な制度理解ができていないところもあります。	児童発達支援センターにおける事業内容や制度等の把握を改めて学ぶ研修会を実施していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 川崎市中央療育センター

公表日 令和8年 3月 25日

令和 8 年 1 月 30 日

利用児童数 131名(きょうだい児含む)

回収数 111名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	107	3			・活発に動く時がある場合は多少狭さを感じます。 ・ホール、スヌーズレン、プール等とも充実していると思います。 ・ホール、プール、スヌーズレンや送迎バスとも充実していると思います。 ・普段の活動では問題ありませんが、室内でだるまさんが転んだをした時にはスペースがなくて少し危ない気がした。 ・人数が多いため、ホールをもっと使えたら良い。	・親子日や活動によっては保育室が狭く感じることもあるようです。活動により人数を分ける、共有部屋を活用する等の工夫をしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	105	4		1	・その日によりプログラム内容によっては一時的に増やしていただきたい時があります。基本的に問題ないです。 ・担任の先生が持ち上がりで助かりました。ありがとうございます。 ・職員が異動になった分の補助が心配。	・職員配置は可能な限りお子さんの状況に応じて通園内で体制を組んでいます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	109	1		1	・個々が分かりやすいように写真にしたり数字が書いてあり、分かりやすい。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	105	5		1	・季節の制作が飾ってありとても華やか。 ・トイレのサイズが子どもに対して小さいように感じる。	・幼児用のトイレを設置しています。各トイレに一回り大きいサイズの洋式トイレを1つ設置しています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	102	8			・ST支援があるとうれしい。 ・担任の先生だけではなく、ST、OT、給食の方等たくさんの方に見守られていると感じます。	・各クラスに担当専門職を配置しています。気になることがあれば担任にご相談ください。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	102	2		7	・プログラムの説明があるとわかりやすいと思います。	・日々の療育の説明を丁寧に行っていきたいと思います。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	109	2				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	106	4		1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	104	4		3		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94	10		6	・前半・後半に大きなプログラムが1つずつ設定されていますが、その他、余っている時間でおもちゃ遊びの時間が少しもったいない気がしています。 ・固定化されていると思うが子どもが理解しやすい内容だと思う。	・自由遊びは自分自身で遊びを見つけることや大人と一緒におもちゃの遊び方を知る、友達とのやりとり等の様々な目的があります。目的の意図を丁寧に説明していきたいと思っています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	74	15	10	11	・一部あるようだが、クラスでは機会がない。	・近隣の保育園と年に1回、交流の機会を設定しています。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	109	2					
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	111						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	99	6	1	6	・研修会とか勉強会参加できなかった際、zoomや資料配布or掲示があると嬉しい。	・勉強会に参加できなかった方は、希望で資料を配布しています。担任にお声掛けください。	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	107	3					
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	109	2			・面談時にアドバイスをもらえて助かります。	・何か気になることがあれば、担任に相談ください。	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	108	4			・面談や日々の活動の際に声をかけて頂きありがたいです。	・ありがとうございます。	

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	65	20	5	22	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだいと一緒にできること等、年に1度あるときょうだいの理解も増える。 ・他の曜日の保護者交流会を開いてほしいです。 ・簡単な勉強会はあるが十分とはいえない。 ・水曜日の親子日だけではあまり親同士話せないで、親だけの交流会があるといいな。 ・あるのかもしれないが、キャッチアップできていない。 ・オンライン交流会があってもいいのかなと参加したい会があっても週3の活動日以外だと少し難しい時もあるので、きょうだい児への関わり方とかは少し気になったけど、参加が難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労されている方も多いことから、父母の会は設定していません。親子通園日に話し合える時間の確保や勉強会の設定を行っています。 ・専門職による勉強会を年2回以上設定しています。必要に応じて勉強会の開催も可能な場合もありますので、担任に相談ください。 ・きょうだい児のことで気になることがあれば、個人面談を実施することも可能ですので、担任に相談ください。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	96	8		3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	104	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	92	7	3	7	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や行事予定に対してもう少し情報発信してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスだよりに活動を内容をお知らせしています。状況に応じてマチコミでの発信も活用しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	105	6		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	99	5		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	102	3		5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	104	4		2	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練等以外に周知いただいていたか分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なことを想定した避難訓練を設定しています。また、今年度は災害伝言ダイヤルの訓練を実施しました。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	94	5	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように連絡が来るのかいまいち分かっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単独通園で発生した事故については電話連絡と共に親子通園日に事故状況の説明を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	106	3			<ul style="list-style-type: none"> ・騒がしい所が苦手&他害の恐れを持っている→お互い様なのは承知です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんが安心して通えるように職員配置や環境面の工夫を行っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	98	8		3	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ通所することを(これからセンター行くよ等)理解できていないので。療育中は楽しく過ごしています。 ・毎週楽しみに通っています。 ・幼稚園のほうが楽しいみたい。 ・毎回とっても楽しく通所してます。担任の先生以外とも交流がありうれしいです。 ・クラスが大好きで、次はいつ?と聞いてきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんが安心して楽しく通える場所であるよう療育支援を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	103	4		2	<ul style="list-style-type: none"> ・学習面、言葉の使い方等、遊びを学ぶだけでなく、もう少しあるといいなと思う。 ・満足ではあるが人員不足によりスピード感が得られない。 ・いつも丁寧な対応、子どもに寄り添った声掛けありがとうございます。・療育に通り始めてから語彙力がが増えて説明や発表が上手になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの状況に応じて、療育内容を検討しながら展開を行っています。発達状況に応じた療育内容について、丁寧に説明する機会を設けていきたいと思えます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		川崎市中央療育センター		公表日		令和8年 3月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	22	7	・活動に応じて保育室を分けるなどの工夫をしている。	・親子日で人数が多くなると部屋のスペースが狭く感じる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	21	8	・必要な時間帯に通園全体で職員調整して運営している。	・配置基準は満たしているが、お子さんの状態に合わせた職員配置の必要を感じる。状況に応じたフリー職員の配置ができると良い。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	29	1	・可動式のパーテーションを使用する等環境調整を実施している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	30		・くつろげるマットの空間等を提供している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	30		・状況に応じて、別空間で落ち着けるようにできる部屋を確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	27	3	・振り返りの時間を設け話し合いながら実施している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	30		・保護者からの意見を基に、可能な限り対応方法を工夫する等して改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	30		・所長面談や園長面談を設定している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	29		・外部からの意見を取り入れている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	28	1	・一人ひとりに合った研修や全体研修がある。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	30				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	30		・面談時に保護者の願いを汲み取り、支援計画に反映させるようにしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	30		・個別支援会議等で多角的に支援の在り方について検討、確認を行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	30				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	22	4		・職員によってはアセスメントの視点の相違があるので、アセスメントの捉え方について、職員間で共通認識を改めて行っていく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	30				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	23	7	・日々意見を出し合いながら、行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	29	1	・子どもの様子を共有し、活動の難易度を変えたり、子ども達が興味を持てるように担任間で相談している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	28	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	27	3	・バス添乗で難しい場合には、活動開始前に実施している。	・一人ひとりのねらいに応じた細かい打合せまでできるとより良いと感じる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	30			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	30			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	30			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	22	4		・家族支援として、部署間を超えた支援も実施しているので、センター職員として業務把握をする機会を設けていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	26	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	30		・訪問支援を実施して、情報共有の機会を図っている。 ・訪問部と連携を図り支援している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	30		・引継ぎシートや学校からの見学受け入れや必要に応じて個別支援会議等を実施して情報共有を図っている。	・学校との連携について、今より行っていかれるようにしていく必要性を感じる。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	30		・川崎市内のセンターとの連携やセンターとして地域の事業所との連絡会を開催している。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	30		・外部講師にスーパーバイザーとして療育支援を実施している。 ・外部研修に参加している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	10		・他部署が参画していることについて、職員が把握できるようにしていく。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	23	6	・95%以上地域の保育園や幼稚園に通われている。 ・近隣園の保育園児が来所して交流をしている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	29		・親子通園日に単独の時の様子を伝えると共にご家庭、園での様子を聞き取り、支援方法等の方向性について確認している。	・家庭と一緒に取り組みを共有しながら、理解に繋げていくようにすることも必要
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	26	1		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	29				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	30				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	30				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	30		・担任では対応が難しい時には、適した職員との面談を設けている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	24	4	・父母の会はないが、懇談会や保護者同士で話し合える時間を設けている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	30		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	26	3	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	29		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	29		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	13	・作品展や地域イベントに参加する等、地域にセンターを周知する機会を設けている。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	29	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	29		・様々な状況を想定した訓練を実施している。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	29		・看護師と連携しながら実施している。 ・個別の緊急時対応を策定して対応している。
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	29		・個別の緊急時対応を策定して対応している。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	29		
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	29		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	29		
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	29		・センター全体で研修を実施していることに加え、通園独自でも研修会を実施している。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	29		・虐待防止・身体拘束適正化委員会にて確認する機会を設けると共に、保護者の支援方法について確認を行っている。	